

2017.10.25

東京モーターショー2017

三菱自動車 プレスカンファレンス スピーチ

<益子 CEO>

三菱自動車のブースにお越し頂き有難うございます。

前回の東京モーターショーから本日までの2年間は、三菱自動車にとって、正に激動の時でありました。

昨年、三菱自動車は、ルノー・日産アライアンスの一員となり、単独では手に入れることができなかった、スケールメリットを享受できるようになりました。

また、電動化技術、自動運転、コネクティッドといった先進技術や、プラットフォームを共用することも可能となりました。

三菱自動車を取り巻く環境が変化する中、私たちは、信頼回復に真摯に努めるとともに、V字回復を軌道に乗せるという強い意志のもと、着実に歩み始めています。

先日発表した中期経営計画“Drive for Growth”の最大の狙いは、持続的成長への基盤を作ることです。持続的成長を実現する中で、日本のものづくりの力、現場の力を多くの方に見ていただきたいと考えています。

そして、より魅力的なクルマを世に送り出していくために、研究開発と設備投資を積極的に行ってまいります。

グローバルモデルとして、最初の新型車となるのが、この『エクリプス クロス』です。

三菱自動車らしいクーペ SUV であるこのクルマは、ジュネーブモーターショーで世界初披露し、大変高い評価を頂きました。

そして、今年度末に発売を予定している日本仕様車を、本日、皆さまに披露させて頂きます。この『エクリプス クロス』を成功させることが、成長軌道への道筋をつけるための第一歩となります。

今や、SUV はどのメーカーでもラインアップしており、どこでも見かけるメジャーな存在となりましたが、三菱自動車は用途が限定され、まだ特異な存在であったころから、長年にわたって SUV を提供し続けてまいりました。そして、この SUV 全盛の時代に、三菱自動車ならではの、新しい価値を持つ SUV を提供してまいります。

私たちの強みは、SUV にあります。そして、他社に先駆けて電動化技術を導入したように、新ジャンルのクルマを創り上げるというところに強みがあります。

これからも、SUV や電動化技術を更に磨き、AI 技術やコネクティッドカー技術など様々な技術と融合させて、クルマに新たな価値を生み出していきたいと考えています。

三菱のクルマづくりは、今年で 100 周年を迎えました。

次の 100 年に向け、今、私たちはブランドをリニューアルします。

“Drive your Ambition”

これは三菱自動車が進む道を示すメッセージであり、決意でもあります。

クルマ社会は新たな変革期を迎えています。今までに無かった、より安全で安心、便利なクルマ社会が実現されようとしています。三菱自動車は、この新しい時代の到来に向けて、これまで培ってきた技術にさらに磨きを掛けるとともに、時代をリードする新しい価値を提供することで、より豊かなクルマ社会を実現させます。

私たちが提供する新しい価値は、お客様が今までできなかった体験を可能にします。「行動範囲を広げたい、さまざまなことに挑戦したい」そのような志をもったお客様を、私たちはサポートし続けてまいります。

<山下 GPL0>

“Drive your Ambition” は、これから三菱自動車が進む道を示しますが、私たちは、そのメッセージを様々な形にして、提案して行きたいと思っています。

今回、『MITSUBISHI e-EVOLUTION CONCEPT』として、ひとつの形にしました。

『MITSUBISHI e-EVOLUTION CONCEPT』について、ご説明させていただきます。

この“e-EVOLUTION” は、これからの三菱自動車が提案します、3つの価値、すなわち、SUV の新しい価値、EV の新しい価値、システムとしての新しい価値を具現化する、テクニカル・プロトタイプです。

“e-EVOLUTION” は、EV との融合による SUV としての進化、システムが生み出す新しい魅力、三菱自動車の DNA である走りのパフォーマンスを具体化し、これからのクルマづくりの方向性を提案いたします。

これらの機能的な魅力は、デザインとしても表現しています。

ショートオーバーハングと大径タイヤによるパッケージング、張り出したショルダーから、下に向かって引き締めたボディサイド断面によって、SUVの力強さと、スポーティな走りを表現しています。

フロントは、三菱自動車のデザインコンセプトである「DYNAMIC SHIELD」を、さらに進化させました。

大型ディスプレイと水平基調のインパネによる開放感のあるインテリア、ハイコンソールやホールド感のあるシートによるスポーティなコクピットによって、今までにない、新しい室内空間を提供します。

これが、これからの三菱自動車の新しいデザインのひとつの方向です。

三菱自動車はEVの先駆者です。1971年に既にEVを開発し、その後も電動車両の可能性を追求してきました。そして、2009年に世界初の量産EV『i-MiEV』を発売しました。

今まさにEV時代を迎え、私たちの経験が社会に活かせる時がやってきました。

環境問題に対する責任を果たしながら、EVをシティコミューターから、多様な用途のSUVまで拡大していきます。

“e-EVOLUTION”は、EVとして高出力モーターと大容量バッテリー、トリプルモーター4WDによって、“e-EVOLUTION”の名に相応しい、加速性能を発揮します。

運動性能を司る制御システムS-AWCは、電気ので、さらに進化します。

デュアルモーターAYCと電動ブレーキキャリパーによって、電動制御ならではの、高精度でレスポンスの良い制御を実現し、多様なシーンでの快適なドライブを可能にします。

さらに、車載AIが新たな価値を生み出します。路面の状況や交通環境を認識し、ドライバーの意思を読み取り、様々なシーンでドライバーを最適にサポートします。

三菱自動車は、今後、コアモデルを中心に、電動化を推進します。PHEVのシステムを軸とし、コンポーネントの共通化を図りながら、バッテリーEV、シリーズハイブリッドといった電動化技術を、幅広く提供する計画です。

皆さんの期待が私たちを奮い立たせ、“Drive your Ambition”を実現するクルマづくりに、邁進することができるでしょう。

以上